

悪性胸膜中皮腫診断における胸腔内に進入しないnon-incisional pleurectomy/ decorticationの安全性および予後についての検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。

またいったんご了承されても匿名化される前までに研究参加を拒否された方のみ、試料・情報の使用を中止することも可能ですので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	悪性胸膜中皮腫診断における胸腔内に進入しないnon-incisional pleurectomy/ decorticationの安全性および予後についての検討
倫理審査 受付番号	第3682号
研究期間	2020年12月倫理審査承認日～2026年12月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に呼吸器外科を受診され、悪性胸膜中皮腫に対して胸膜切除/肺剥皮術（P/D）が施行された方 2012年 9月 1日～2020年 9月30日

研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	<p>(研究目的、意義) 悪性胸膜中皮腫に対する根治術の胸膜切除/肺剥皮術 (P/D) は胸腔内に進入するため局所制御が劣るといわれていますが、産業医科大学の田中文啓先生が胸腔内に進入しない悪性胸膜中皮腫に対してnon-incisional pleurectomy/decortication (NI-P/D) を行った症例報告を世界で初めて発表しました。当科でも2019年1月より導入しています。しかし従来のP/Dと比べた安全性や忍容性、予後について明らかではなく、本研究でこれらを明らかにすることが目的です。</p> <p>(研究の方法) 2012年9月1日から2020年9月30日の間に当科で悪性胸膜中皮腫に対してP/Dを施行した患者さんを対象とします。それらの患者さんの中で、NI-P/Dを行った患者さんと従来のP/Dを行った患者さんの手術に関する結果（手術時間、出血量、ドレーン留置期間、術後在院日数、術後合併症発生率、手術関連死亡率）、転記、予後を診療録より抽出し比較検討します。</p> <p>(個人情報の取り扱い) 収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
本研究に関する 連絡先	<p>兵庫医科大学病院 呼吸器外科 長谷川 誠紀（研究責任者） 近藤 展行（研究担当者）</p> <p>TEL （平日 9：00～17：00） 0798-45-6885 （上記時間以外） 0798-45-6111</p>